



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 丸大食品株式会社
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百済 徳男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加藤 伸佳
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	58,740	1.1	516	65.3	592	62.1	297	71.9
30年3月期第1四半期	59,363	4.9	1,490	9.4	1,566	10.4	1,057	6.9

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 747百万円 (61.4%) 30年3月期第1四半期 1,936百万円 (145.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	2.33	
30年3月期第1四半期	8.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	138,376	76,707	55.1	597.45
30年3月期	131,146	76,984	58.3	599.69

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 76,221百万円 30年3月期 76,507百万円

「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期の総資産及び自己資本比率については、当会計基準等を遡って適用した後の値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				8.00	8.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合をする予定であり、平成31年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	125,000	3.5	1,200	35.1	1,400	32.0	850	29.4	6.66
通期	250,000	4.3	3,000	26.6	3,300	17.0	2,100	14.0	82.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成31年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	132,527,909 株	30年3月期	132,527,909 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	4,950,362 株	30年3月期	4,949,831 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	127,577,687 株	30年3月期1Q	131,414,083 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成30年6月28日開催の第70回定時株主総会において、株式併合(普通株式5株を1株に併合)及び単元株式数の変更(1,000株から100株に変更)について承認可決され、平成30年10月1日を効力発生日として、株式併合及び単元株式数の変更を実施することとしております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成31年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- (1) 平成31年3月期の配当予想
- | | |
|---------------|-------|
| 1株当たり配当金 (期末) | 7円00銭 |
|---------------|-------|
- (2) 平成31年3月期の連結業績予想
- | | |
|-----------------|--------|
| 1株当たり当期純利益 (通期) | 16円46銭 |
|-----------------|--------|

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費の持ち直しが見られ景気は緩やかに回復しておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などによる下振れリスクが懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当業界におきましては、人手不足や物流コスト・動力費の上昇が進行するなかで、お客様の節約志向を背景に競合他社との価格競争がますます激しくなるなど、厳しい環境が続いております。また、食肉相場につきましては、各畜種とも軟調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、「基幹事業の拡大と次なる柱の育成」「商品開発力、技術力の強化」などの基本方針を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比1.1%減の587億40百万円、営業利益は同65.3%減の5億16百万円、経常利益は同62.1%減の5億92百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同71.9%減の2億97百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	41,050	40,553	△496 (△1.2%)	801	67	△733 (△91.5%)
食肉事業	18,278	18,145	△132 (△0.7%)	651	427	△223 (△34.4%)
その他	34	40	6 (18.1%)	37	21	△15 (△41.7%)
合計	59,363	58,740	△623 (△1.1%)	1,490	516	△973 (△65.3%)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	20,884	19,545	△1,339 (△6.4%)
調理加工食品	20,165	21,007	842 (4.2%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」などの主力商品を中心とした「おかげさまで60周年 わんぱくでもいい。たくましく育てほしい。キャンペーン」や、復刻版デザインの記念商品などの販促活動を実施しました。また、人気キャラクター「ミニオン」を起用した「あらびきウインナー ミニオン」や「フィッシュソーセージ ミニオン」などの新商品を投入し売上拡大に努めました。これらの施策を行いました。お客様の節約志向を背景とした競合他社との価格競争激化などにより当部門の売上高は前年同期比6.4%の減収となりました。

調理加工食品部門では、コラーゲンやヒアルロン酸などを加えた「オルチャンスンドゥブ ごま豆乳味」を加えた「スンドゥブ」シリーズや、「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズの売上高が堅調に推移したほか、ブロックタイプを追加した「サラダチキン」シリーズが売上高に貢献しました。デザート・飲料類につきましては、ブラックタピオカ入り飲料の「TAPIOCA TIME」シリーズなどが伸長しました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比4.2%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比1.2%減の405億53百万円となりました。営業利益は、主力のハム・ソーセージ部門の減収や、コンビニエンスストア向けの新工場の立ち上げに伴う初期コストなどから前年を大きく下回り、前年同期比91.5%減の67百万円となりました。

② 食肉事業

牛肉につきましては、国産牛肉が販売数量を拡大し売上高を伸ばす一方、輸入牛肉は販売数量が減少し売上高は前年を下回りましたが、牛肉全体の売上高は前年を維持しました。豚肉につきましては、国産豚肉は販売数量・売上高ともに前年を下回りましたが、輸入豚肉は販売数量を伸ばし売上拡大に努めたことなどにより、豚肉全体の売上高は堅調に推移しました。鶏肉につきましては、相場下落の影響などにより販売数量及び売上高は前年を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比0.7%減の181億45百万円となりました。営業利益は、鶏肉相場が下落したことなどから、前年同期比34.4%減の4億27百万円となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比18.1%増の40百万円、営業利益は前年同期比41.7%減の21百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	131,146	138,376	7,229
負債	54,162	61,669	7,507
純資産	76,984	76,707	△277
自己資本比率	58.3%	55.1%	△3.2%

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が28億20百万円増加、商品及び製品が16億25百万円増加、有形固定資産が10億4百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ72億29百万円増加し、1,383億76百万円となりました。

負債は、有利子負債が46億13百万円増加、支払手形及び買掛金が26億93百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ75億7百万円増加し、616億69百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金3億45百万円の増加や親会社株主に帰属する四半期純利益2億97百万円の計上がありました。剰余金10億20百万円の配当などから、前連結会計年度末に比べ2億77百万円減少し、767億7百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から3.2%低下し、55.1%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	912	536	△376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,348	△3,579	△2,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,995	3,017	5,013
現金及び現金同等物の増減額	△2,431	△25	2,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,939	8,684	△5,255

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、減価償却費の計上や税金等調整前四半期純利益の計上などから、5億36百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、35億79百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いがありましたが、有利子負債の増加などから、30億17百万円増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末から25百万円減少し、86億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月14日に発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,709	8,684
受取手形及び売掛金	29,048	31,869
商品及び製品	8,999	10,625
仕掛品	513	549
原材料及び貯蔵品	6,536	6,919
その他	1,273	1,506
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	55,065	60,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,702	53,199
減価償却累計額	△36,015	△36,338
建物及び構築物(純額)	14,687	16,861
機械装置及び運搬具	56,336	58,479
減価償却累計額	△44,148	△44,733
機械装置及び運搬具(純額)	12,188	13,745
工具、器具及び備品	4,585	4,649
減価償却累計額	△2,972	△2,942
工具、器具及び備品(純額)	1,612	1,707
土地	18,996	19,010
リース資産	8,145	8,283
減価償却累計額	△3,178	△2,925
リース資産(純額)	4,966	5,357
建設仮勘定	3,684	457
有形固定資産合計	56,135	57,140
無形固定資産	1,774	2,374
投資その他の資産		
投資有価証券	14,097	14,607
長期貸付金	30	31
繰延税金資産	266	352
その他	3,910	3,853
貸倒引当金	△134	△121
投資その他の資産合計	18,171	18,723
固定資産合計	76,081	78,238
資産合計	131,146	138,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,329	26,023
短期借入金	5,130	9,562
1年内返済予定の長期借入金	1,669	1,594
リース債務	922	974
未払金	8,827	8,300
未払法人税等	442	233
未払消費税等	458	401
賞与引当金	966	1,656
その他	2,011	2,402
流動負債合計	43,757	51,149
固定負債		
長期借入金	3,058	2,923
リース債務	4,134	4,474
繰延税金負債	1,702	1,692
退職給付に係る負債	792	687
その他	716	741
固定負債合計	10,404	10,520
負債合計	54,162	61,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	44,469	43,745
自己株式	△2,456	△2,456
株主資本合計	70,815	70,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,395	6,741
繰延ヘッジ損益	△9	9
為替換算調整勘定	35	36
退職給付に係る調整累計額	△730	△657
その他の包括利益累計額合計	5,692	6,129
非支配株主持分	476	486
純資産合計	76,984	76,707
負債純資産合計	131,146	138,376

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	59,363	58,740
売上原価	45,735	45,974
売上総利益	13,628	12,765
販売費及び一般管理費	12,138	12,249
営業利益	1,490	516
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	4	11
不動産賃貸料	49	47
保険配当金	39	36
その他	61	67
営業外収益合計	160	167
営業外費用		
支払利息	44	51
その他	39	40
営業外費用合計	83	91
経常利益	1,566	592
特別利益		
固定資産処分益	70	1
特別利益合計	70	1
特別損失		
固定資産処分損	52	36
損失補償金	—	55
投資有価証券評価損	0	0
特別損失合計	53	92
税金等調整前四半期純利益	1,583	501
法人税、住民税及び事業税	685	472
法人税等調整額	△166	△281
法人税等合計	518	190
四半期純利益	1,065	310
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,057	297

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,065	310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	757	345
繰延ヘッジ損益	3	18
退職給付に係る調整額	110	72
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	871	436
四半期包括利益	1,936	747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,928	734
非支配株主に係る四半期包括利益	8	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,583	501
減価償却費	1,311	1,505
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46	△9
受取利息及び受取配当金	△9	△15
支払利息	44	51
投資有価証券評価損益(△は益)	0	0
固定資産処分損益(△は益)	△18	35
売上債権の増減額(△は増加)	△2,549	△2,819
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,001	△2,051
仕入債務の増減額(△は減少)	1,822	2,718
未払消費税等の増減額(△は減少)	272	△56
その他	813	923
小計	2,305	769
利息及び配当金の受取額	138	158
利息の支払額	△39	△44
法人税等の支払額	△648	△320
特別退職金の支払額	△842	△26
営業活動によるキャッシュ・フロー	912	536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
固定資産の取得による支出	△1,804	△3,670
固定資産の売却による収入	542	78
その他	△77	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,348	△3,579
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△494	4,432
長期借入金の返済による支出	△280	△210
リース債務の返済による支出	△231	△238
配当金の支払額	△985	△960
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,995	3,017
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,431	△25
現金及び現金同等物の期首残高	16,370	8,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,939	8,684

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,050	18,278	59,328	34	59,363	—	59,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	224	224	△224	—
計	41,050	18,278	59,328	259	59,587	△224	59,363
セグメント利益	801	651	1,452	37	1,490	—	1,490

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	40,553	18,145	58,699	40	58,740	—	58,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	187	187	△187	—
計	40,553	18,145	58,699	227	58,927	△187	58,740
セグメント利益	67	427	494	21	516	—	516

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。